

子供を中心に流行する感染症について

1 感染症名、主な症状等

	咽頭結膜熱 (プール熱)	ヘルパンギーナ	RSウイルス 感染症	手足口病
主な 症状	<ul style="list-style-type: none"> ● 発熱、咽頭炎（のどのはれ）、結膜炎（目の充血）などの症状があらわれます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 突然の高熱で発症し、口の中の奥の方に水疱や潰瘍ができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発熱、咳、鼻水、咽頭痛、頭痛、倦怠感（元気がない等）など、かぜに似た症状です。 ● 肺炎を起こすなど重症化することもあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 口の中、手のひら、足の裏などに、発しんや水疱ができます。あまり高い熱は出ません。 ● 重症化はまれですが、合併症として急性脳炎や心筋炎があります。
原因 ウイルス	アデノウイルス (adenovirus 3、7型。それ以外に2、4、11、14型が知られている。)	エンテロウイルス 属のウイルス (コクサッキーウイルスA群、エンテロウイルス71型等)	RSウイルス (Respiratory Syncytial Virus)	エンテロウイルス 属のウイルス (コクサッキーウイルスA群、エンテロウイルス71型等)
感染 経路	<ul style="list-style-type: none"> ● 患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛まつ感染 ● 水疱の内容物や目ヤニ、便の中のウイルスが、手を介して口や眼などの粘膜に入ることによる経口及び接触感染 ● 咽頭結膜熱は、感染力が強く、プールや温泉施設などでの感染もあることから「プール熱」とも呼ばれています。 			
治療	<ul style="list-style-type: none"> ● つらい症状をやわらげる対症療法が中心です。 ● 咽頭結膜熱は、眼の症状が強い場合は眼科での治療を行います。 ● ワクチンや特効薬はありません。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 食事や水分がとりにくくなり、脱水症状をおこすことがあります。水分補給に努め、柔らかく、刺激の少ない食事を工夫しましょう。 ● ぐったりしている、呼びかけに対する反応が鈍い、意味不明の言動がみられるなどの症状が現れた場合はすぐに受診しましょう。 ● 特にRSウイルス感染症については、小さなお子さんにかぜのような症状が見られ、熱が38度以上に上がる、呼吸が浅く速くなる、ゼイゼイと咳が続く、痰が詰まる、急にぐったりするなどの様子が見られたときは、早めに医療機関を受診しましょう。 			

2 感染予防のポイント

お子さん

- こまめな手洗いを習慣づけましょう
(手洗いは多くの感染症に共通する重要な予防策です)
- お子さんが理解できる範囲で咳エチケットを心がけましょう
(人に向けてくしゃみをしないなど)

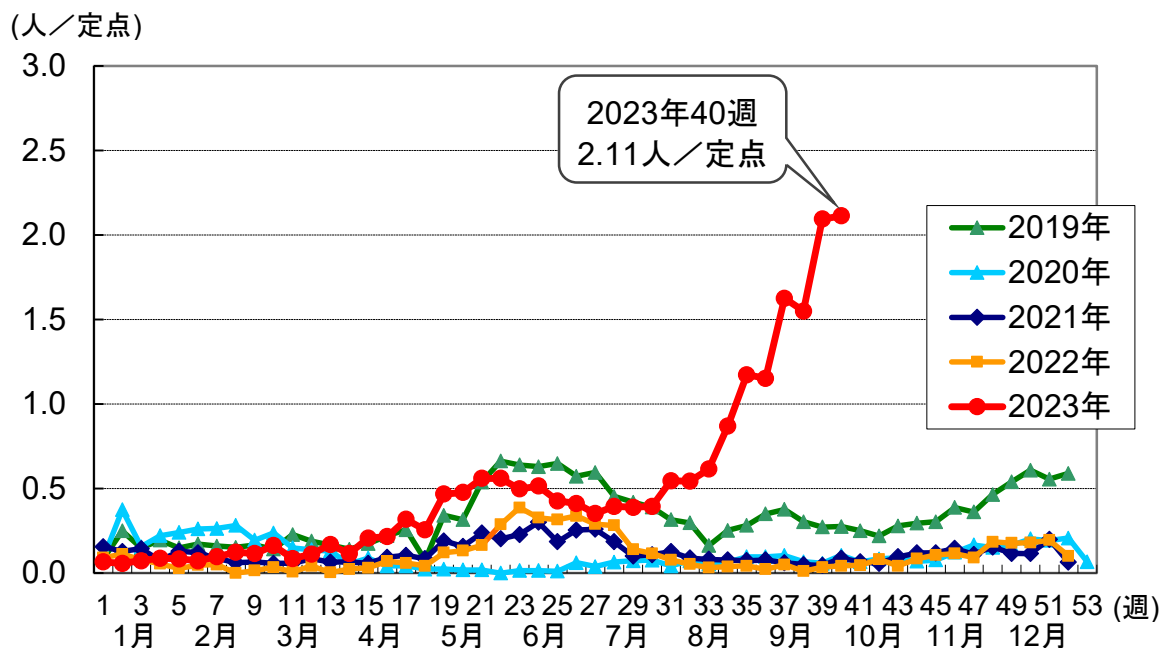
保護者の方や保育所等の職員の方

- 手指衛生や咳エチケットなど、感染防止にこころがけましょう
- お子さんに咳などの症状のある場合は、登園、登校を見合わせるなど無理をさせないように配慮しましょう
- 症状がおさまった後も、患者さんの便の中にはウイルスが含まれますので、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前には手洗いを心がけましょう
- 保育所、幼稚園、学校などの集団生活では、タオルの共用は避けましょう
- 先天性心疾患、慢性肺疾患などがある場合は、かかりつけ医に相談し、感染予防や病気にかかった場合の対応について、助言を受けておきましょう

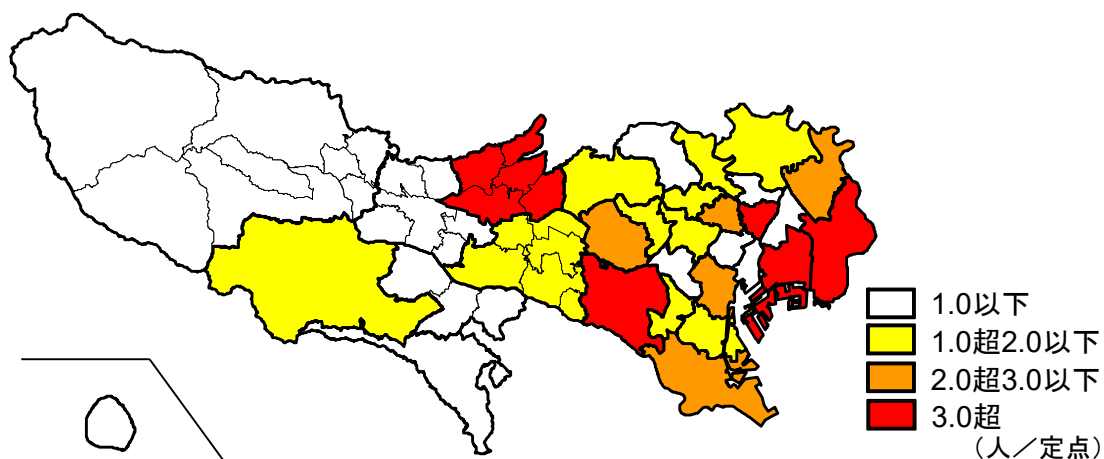
咳エチケット

- ① 人混みに行く時や会話をする時、せき・くしゃみの症状がある時など、着用が効果的な場面ではマスクをしましょう。
- ② せき・くしゃみをする時は、口と鼻をティッシュでおおきましょう。
- ③ せき・くしゃみをする時は、周りの人から顔をそらしましょう。

東京都における定点当たり患者報告数(咽頭結膜熱)(過去5シーズン)



東京都における咽頭結膜熱の発生状況(保健所管轄地域別)(2023年第40週)



- 発生状況(定点当たり患者報告数)の塗り分けは、各保健所の管轄範囲が単位(例えば、小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市は全て、管轄する多摩小平保健所における発生状況に対応した色で塗り分けられている)です。
- 咽頭結膜熱については、「保健所単位で定点あたり3.0人/週を超えてから1.0人を下回るまでの間」を警報レベルとしています。現在、警報レベルにある保健所は、都内31か所中9か所で、報告数が高い順に、台東(9.50人)、江戸川(6.17人)、江東区(3.89人)、多摩小平(3.64人)、世田谷(3.50人)、大田区(2.77人)、文京(2.75人)、みなと(2.50人)、目黒区(2.00人)です。

※ 最新の情報については、東京都感染症情報センターのウェブサイトをご覧ください。

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

患者報告数の年齢階層別内訳(2023年第1週から第40週分)

咽頭結膜熱

累計報告数 (n = 5,245)

